

令和3年度下半期 瑞穂町下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和3年度の汚水処理の状況は下半期の処理水量が1,825,898^m、年間有収水量は3,675,313^m（前年度比0.8%増）となりました。

収益的収入の主な収入である下水道使用料の調定額は下半期が229,682千円、決算額は462,721千円（前年度比3.6%増）となりました。また、一般会計からの負担金（雨水処理負担金と汚水処理負担金）は下半期が83,606千円、決算額は243,606千円（前年度比5.8%減）となりました。

収益的支出の主な支出として、業務費の多摩川上流流域下水道維持管理負担金は下半期が128,253千円、決算額は163,605千円（前年度比5.4%減）、減価償却費は下半期に全額執行し、決算額は636,395千円（前年度比1.0%増）、支払利息及び企業債取扱諸費は下半期が16,612千円、決算額は34,274千円（前年度比10.5%減）となりました。

資本的収入の主な収入として、一般会計からの出資金は下半期が104,385千円、決算額は154,385千円（前年度比16.8%減）となりました。

資本的支出の主な支出として、管渠整備費の公共下水道事業委託の決算額は121,046千円（前年度比16.0%減）、企業債償還金は下半期が73,298千円、決算額は146,752千円（前年度比1.4%減）となりました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
営業収益	507,619	527,044	103.8%	営業費用	1,060,560	1,052,933	99.3%
下水道使用料	443,301	462,721	104.4%	管渠費	94,752	88,289	93.2%
他会計負担金	64,097	64,097	100.0%	ポンプ場費	28,377	26,204	92.3%
その他営業収益	221	226	102.3%	業務費	189,463	182,732	96.4%
営業外収益	651,114	651,307	100.0%	総係費	111,358	110,736	99.4%
受取利息及び配当金	1	2	200.0%	減価償却費	636,610	636,395	100.0%
他会計負担金	179,509	179,509	100.0%	資産減耗費	0	8,577	—
長期前受金戻入	460,922	464,698	100.8%	営業外費用	34,300	34,274	99.9%
消費税及び地方消費税還付金	9,992	6,286	62.9%	支払利息及び企業債取扱諸費	34,300	34,274	99.9%
雑収益	690	812	117.7%	特別損失	1	0	0.0%
				過年度損益修正損	1	0	0.0%
				予備費	5,000	0	0.0%
				予備費	5,000	0	0.0%
合計	1,158,733	1,178,351	101.7%	合計	1,099,861	1,087,207	98.8%

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
企業債	82,200	81,400	99.0%	建設改良費	315,627	301,891	95.6%
企業債	82,200	81,400	99.0%	管渠整備費	243,321	229,587	94.4%
他会計出資金	154,385	154,385	100.0%	ポンプ場整備費	59,400	59,400	100.0%
他会計出資金	154,385	154,385	100.0%	多摩川上流流域下水道建設負担金	4,632	4,631	100.0%
補助金	21,525	21,525	100.0%	多摩川上流流域下水道改良負担金	8,274	8,273	100.0%
国庫補助金	20,500	20,500	100.0%	企業債償還金	146,752	146,752	100.0%
都補助金	1,025	1,025	100.0%	企業債償還金	146,752	146,752	100.0%
負担金	1,098	1,098	100.0%				
受益者負担金	53	53	100.0%				
国庫負担金	1,045	1,045	100.0%				
合計	259,208	258,408	99.7%	合計	462,379	448,643	97.0%

令和4年度 瑞穂町下水道事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和4年度	令和3年度	比較	区分	令和4年度	令和3年度	比較
営業収益	528,216	507,619	20,597	営業費用	1,091,676	1,097,619	△ 5,943
下水道使用料	441,276	443,301	△ 2,025	管渠費	95,070	117,153	△ 22,083
他会計負担金	86,694	64,097	22,597	ポンプ場費	30,759	30,563	196
その他営業収益	246	221	25	業務費	216,863	192,099	24,764
営業外収益	616,869	666,065	△ 49,196	総係費	106,840	120,184	△ 13,344
受取利息及び配当金	1	1	0	減価償却費	642,144	637,620	4,524
他会計負担金	151,330	179,509	△ 28,179	営業外費用	30,641	34,567	△ 3,926
長期前受金戻入	462,008	461,147	861	支払利息及び企業債取扱諸費	30,641	34,567	△ 3,926
消費税及び地方消費税還付金	3,530	25,408	△ 21,878	特別損失	0	1	△ 1
				過年度損益修正損	0	1	△ 1
				予備費	5,000	5,000	0
				予備費	5,000	5,000	0
合計	1,145,085	1,173,684	△ 28,599	合計	1,127,317	1,137,187	△ 9,870

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和4年度	令和3年度	比較	区分	令和4年度	令和3年度	比較
企業債	182,300	171,115	11,185	建設改良費	307,910	377,907	△ 69,997
企業債	182,300	171,115	11,185	管渠整備費	286,821	301,718	△ 14,897
他会計出資金	46,200	100,385	△ 54,185	多摩川上流流域下水道建設負担金	10,125	7,699	2,426
他会計出資金	46,200	100,385	△ 54,185	多摩川上流流域下水道改良負担金	10,964	8,540	2,424
補助金	3,937	21,525	△ 17,588	ポンプ場整備費	0	59,950	△ 59,950
国庫補助金	3,750	20,500	△ 16,750	固定資産購入費	27,000	0	27,000
都補助金	187	1,025	△ 838	有形固定資産購入費	27,000	0	27,000
負担金	85,554	1,674	83,880	企業債償還金	138,169	146,752	△ 8,583
受益者負担金	85,398	53	85,345	企業債償還金	138,169	146,752	△ 8,583
国庫負担金	156	1,621	△ 1,465				
合計	317,991	294,699	23,292	合計	473,079	524,659	△ 51,580

2 事業の経営方針

瑞穂町は、昭和49年度から下水道事業に着手し、令和3年度末時点で下水道普及率は、98.2%となっています。しかし、未普及地域への下水道整備、浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性など新たな課題に直面しています。このような中、将来にわたり安定的に公共下水道サービスを提供していくため、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、複式簿記・発生主義に基づく公営企業会計方式による経理を開始しました。

このことにより、経営の健全化、効率化を図りながら、さらなる経営基盤の強化を目指します。

令和4年度予算における取組は、下水道施設の維持管理（収益的収支）として、①管渠内清掃を行うとともに、異常箇所等の補修を行います。②駒形汚水中継ポンプ場のポンプの運転管理、施設設備等の点検を行います。③大雨対策として、不明水対策工事、侵入水調査及び内水浸水想定区域図の作成を行います。

また、下水道施設整備（資本的収支）として、①衛生的で快適な生活環境を図るため、汚水管渠布設工事を行います。②下水道総合地震対策計画に基づき、減災対策としてマンホールトイレの設置工事を行います。③安全安心な住民生活の実現に向けた雨水対策のため、長岡1号幹線布設工事を3年間の継続事業として実施します。

引き続き、下水道事業の財源として、下水道使用料、補助金、下水道事業受益者負担金、企業債等の確保に努めた経営を行い、公営企業会計に基づいた、経営の効率化を図り、より一層の行政サービスの向上に努めます。